

[戦後80年] 平和と人権のためのスケッチ・パネル展 2025

いま知つてほしい悲劇の記憶と教訓 シベリア抑留 1945~1956⇒2025

戦後80年になりました。敗戦後にソ連・モンゴルに60万人以上が抑留され、6万人以上が亡くなった歴史と記憶を三人の抑留体験画家らが描いた絵・スケッチと写真や資料で伝えます。

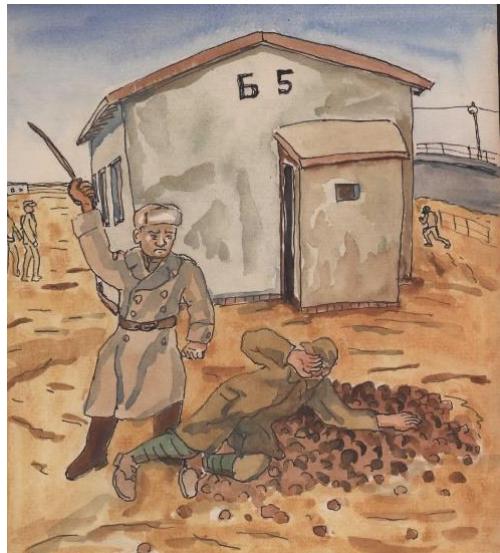
「シベリア抑留」を初めて聞く方、知る方も多いと思いますが、ウクライナやガザはじめ世界各地で戦闘と暴力の続く21世紀の今日、貴重なスケッチや資料をとおして、歴史を知り、教訓を考えていただければと願います。ふるってお越しください。

■展示作品 井上馨『友よ ゆるせ』、桐山章『鋸(ピーラー)と斧(ボーラー)』、飯野珪次郎『砂に描く』

■写真報告 各地の墓地・埋葬地(跡)はいま (ロシア、カザフスタン、モンゴル)



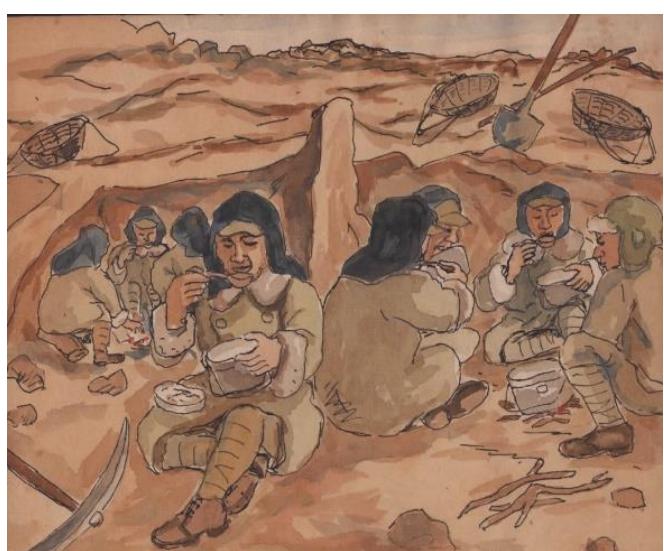
凍つくる岩石を掘る 井上 馨



クズ芋拾いが見つかりソ連兵に叩かれる 飯野珪次郎



配給のパンの分配と計量 桐山 章



カザフスタンのダム工事現場の昼食 飯野珪次郎

●日時: 2025年11月24日(月・祝)~30日(日)11:00~19:00

*初日 11/24 13:00 から *最終日 11/30 17:00 まで <入場:無料、ギャラリートークは14:00から>

●会場:千代田区立九段生涯学習館2F「九段ギャラリー」(地図裏面)

(東京メトロ東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車 6番出口すぐ前、千代田区九段南1-5-10)

●主催:千代田・人権ネットワーク ●共催:シベリア抑留者支援・記録センター ●後援:駐日カザフスタン大使館

●連絡・問合せ先: 080-5079-5461 E-Mail:cfrtyo@gmail.com URL: <http://sdcpis.webnode.jp/>



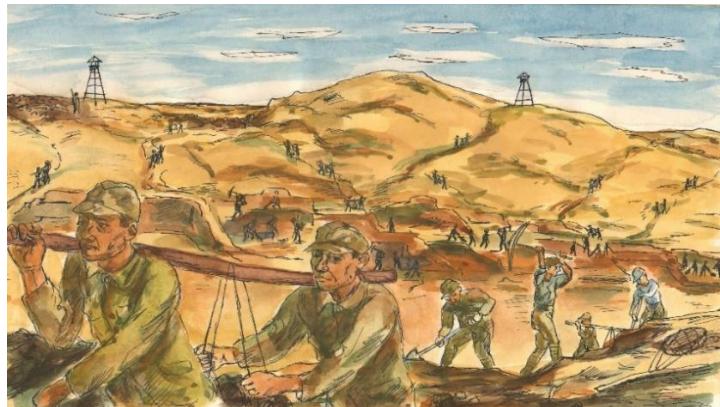
シベリアで移送列車が停車、外をうかがう捕虜たち 桐山 章



森の中の伐採作業 桐山 章



ハブチランガでは最初の3ヶ月で 500 人中 200 人死亡 井上 鑿



カザフスタンのダム工事現場 飯野佳次郎

写真報告 各地の墓地・埋葬地(跡)はいま



カザフスタン・アルマトイ中央墓地



再建された追悼碑(同)



カザフスタン・スパスクの追悼碑



ロシア・ウランウデの追悼碑



同墓地



モンゴル・スバートル埋葬地跡

■写真提供＝味方俊介・浅野真理・
村山颯・川地雄大・田窪優司氏ほか
■会場では毎日 14:00 からギャラリートークを行います。11/24 のゲストは小林昭菜関東学院大学准教授、11/29 は上記墓地を訪れた方々、11/30 は抑留体験者の西倉勝さん(100 歳)の予定です。

